

就業者の定着に結び付いた一連の取組み(伸共木材協同組合/益田市)

背景・目的

原木生産の規模を拡大するためには人手が必要。しかし、就業しては辞めてしまう状況が続き、なかなか従業員が増えない状態であった。そのため、育成した人材が離職しないようにするため様々な取組を進めてきた。

取組事例

○労働条件・就労環境の充実

- ・能力評価システムの導入(H26～)
導入後も中小企業診断や社会保険労務士の指導を受けシステムの改良を行った。
- ・しまね林業士手当の新設(R元～)
しまね林業士制度の開始直後に新設し就業者の給料upにつなげた。
- ・子ども手当の新設(R3～)
益田市の「ますだ子育て応援宣言企業」の認定を受けている(H29～)。

○人材育成を目的とした取組の充実

- ・人材育成目的の研修実施
就業者の考える力や指導力、コミュニケーション能力育成のための研修を実施。研修で取り扱う事例等は就業者が考える。
- ・独自の安全大会を実施
以前は外部から講師を呼ぶだけだったが、安全大会の内容を就業者が考え実施する独自の安全大会を年2回実施。
→人が辞める要因になる労災の発生防止や、就業者個々に自ら考え行動する能力を高めるための研修等に取組んでいる。

○福利厚生 of 充実

- ・スポーツジム等の福利厚生施設の整備
就業者に会社独自のアンケートを実施し、意見をもとにスポーツジム設置。従業員の体力向上やコミュニケーションを深める場として機能。

取組の効果

これら一連の取組みによって離職者が減少し、定着へ結び付いた。



今後の取組

- ・年間休日について、一度に増やすことは難しいが少しずつ増やしていきたい。まずは100日→105日を目指す。
- ・今後も人材育成の取組みを続け、個人の技術力強化、そして組織力強化を図っていく。そうすることで生産性も向上し、就業者の給料増加につながっていく。こうした一連の流れを作り出す取組みを継続していく。